



花巻商工会議所青年部
創立40周年記念誌

倏 奮

Hanamaki



未来永劫

eternal future

共に創る 輝き続ける未来

YEGとは

商工会議所青年部の英語名

[Young Entrepreneurs Group]の頭文字をとったものです。

同時に商工会議所青年部のもつコンセプト

若さ・情熱・広い視野をもった経営者:[Youth Energy Generalist]を表しています。

Entrepreneurs[アントレプレナーズ]:企業家

企業家精神を持っている人、地域連携する人、ニュービジネスをする人、環境問題に取り組む人、
中心市街地活性化に参画する人、物作りを守り発展させる人。

揆奮[きふん]のいわれ

花巻城の学者松川八左衛門滋安が心魂込めて、1855年(安政元年)建設した文武の道場で1860年(万延元年)藩公から郷学の許しをうけて「揆奮場」と命名した。その後幕末まで花巻の文武の中心として多くの若者を育てた。

「揆奮」の文字は「書経」の「三百里揆文教二百里奮武衛」(三百里文教を揆き、二百里武衛を奮う)からとったものである。

花巻開町四百年記念花巻人物誌「揆奮」より引用

未来永劫 ~ eternal future ~ 共に創る。輝き続ける未来。



花巻商工会議所青年部は創立以来、様々な議場や活動を通じて、地域経済への課題解決に向けた取り組みや地域振興を積み重ね、本年度創立40周年を迎えます。

40年の間には、東日本大震災、100年に一度のパンデミックと言われた新型コロナウイルス感染症の流行など、我々を取り巻く経済・社会は大きく変化し、青年部活動の継続が困難な時期もありました。その中でも前向きに、できることを模索しながら活動を続け、メンバー同士の絆を深めながら研鑽に努めてまいりました。

困難な時期を乗り越えた仲間と共に、これからも切磋琢磨し、先輩方への感謝と敬意を持ちながら、商工会議所青年部の発展と地域経済の発展のため「未来永劫」輝き続ける未来を築いていく使命を果たせるよう邁進してまいります。

地域に求められ、愛され、未来の世代に選ばれる商工会議所青年部創出を目指し全力を尽くします。

YEG宣言

私はYEGとして、夢に挑む。

私達はYEGとして、地域を愛し、日本(にっぽん)を愛する。

すべてのYEGは、連帯の証となる。

綱領

商工会議所青年部は

地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い

次代への先導者としての責任を自覚し

地域の経済的発展の支えとなり

新しい文化的創造をもって

豊かで住みよい郷土きょうどづくりに貢献する

指針

われわれ青年部は

一、 地域を支える青年経済人として 先導者たる気概で研鑽に務めよう

一、 国際社会の一員であるべき 国際人としての教養を高めよう

一、 豊かな郷土を築くために 創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう

一、 文化を伝承しつつ 新しい文化の創造に向かって歩を進めよう

一、 行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ 国の礎いしづえとなろう

伸びゆく大地

商工会議所青年部の歌

〔作詞〕石井 耕二 〔作曲〕石井 欽

一、伸びゆく大地

伸びゆく大地 日本の
拡がる街なみ 青い空
集える仲間 は それぞれに
地域を支える 気概持つ
願いをかたちに 変えるため
商工会議所 青年部
求めて我らは 立ち上がる

二、幾山河を

幾山河を 越えていく
道は果てなく 遠いけど
夢追う気持ちは 忘れない
人と人とが 語りあい
心と心を 結ぶため
商工会議所 青年部
時代を我らは 先駆ける

三、自由の海の

自由の海の 渚には
世界の波が 打ち寄せる
歴史の舵は いつの世も
熱ある者が 取ってきた
豊かな郷土を 築くため
商工会議所 青年部
明日に我らは 船出する

記念式典

令和6年11月9日[土]
なはんプラザ COMZホール
13:30～

- 1 開式の辞
- 2 国歌「君が代」斉唱
- 3 商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」斉唱
- 4 商工会議所青年部「綱領」朗読、「指針」唱和
- 5 市民憲章唱和
- 6 式辞 花巻商工会議所青年部会長 高橋 英明
- 7 ご挨拶 花巻商工会議所会頭 高橋 豊
- 8 来賓祝辞
花巻市長 上田 東一様
岩手県南広域振興局 副局長 高橋 雅彦様
日本商工会議所青年部 会長 吉川 裕太様
- 9 来賓紹介
- 10 来訪青年部紹介
- 11 祝電披露
- 12 歴代会長紹介並びに感謝状贈呈
- 13 歴代会長代表謝辞
- 14 閉式の辞

記念講演

令和6年11月9日[土]
なはんプラザ COMZホール
15:00～

- 1 開会
- 2 主催者挨拶
- 3 講師紹介
- 4 記念講演 『未来永劫 — 持続可能な成長を追求して』
- 5 閉会



株式会社雨風太陽 代表取締役
高橋 博之氏

Profile

1974年、岩手県花巻市生まれ。青山学院大卒。代議士秘書等を経て、2006年岩手県議会議員に初当選。翌年の選挙では2期連続のトップ当選。震災後、復興の最前線に立つため岩手県知事選に出馬するも次点で落選、政界引退。

2013年NPO法人東北開墾を立ち上げ、地方の生産者と都市の消費者をつなぐ、世界初の食べもの付き情報誌「東北食べる通信」を創刊し、編集長に就任。

2015年同社設立、代表取締役に就任。

祝賀会

令和6年11月9日[土]
ホテル グランシェール花巻
17:00～

- 1 開会の言葉
- 2 主催者挨拶
- 3 来賓祝辞
東北ブロック商工会議所青年部連合会 会長 太田 憲仁様
岩手県商工会議所青年部連合会 会長 卯城 正一様
- 4 鏡開き
- 5 乾杯
- 6 祝宴
- 7 おふるまい紹介並びに余興
- 8 中締め
- 9 閉会の言葉

目次

ご挨拶	04
祝辞	05
40年の軌跡 1984－2013	10
40年の軌跡 2014－2023	20
メンバー紹介	30

ご挨拶

花巻商工会議所青年部が創立40周年を迎えたこの記念すべき節目に、寄稿の機会をいただき、心より感謝申し上げます。青年部の創立から現在に至るまで、時代は目まぐるしく変化し、私たちを取り巻く環境も大きく様変わりしてきました。

しかし、その中でも綱領にもあります青年部の基本理念「商工会議所青年部は、地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い、次代への先導者としての責任を自覚し、地域の経済的発展の支えとなり、新しい文化的創造をもって、豊かで住みよい郷土づくりに貢献する」が一貫して守られてきたことは、私たちにとっての大きな誇りです。

40年前、花巻商工会議所青年部は地域経済の活性化を担う若い経営者たちのネットワークとして発足しました。以来、数々の試練と挑戦を乗り越え、地域に根ざした活動を続けてまいりました。先輩方が築き上げてこられたその歩みは、私たちにとって貴重な財産であり、現在の青年部が存在する基盤でもあります。

特に近年、私たちが直面している課題は、これまで以上に複雑でグローバルなものとなっています。DXや環境問題、地域の人口減少といった課題に対して、これまでの延長線上で解決できるものではありません。しかし、商工会議所青年部は、こうした新たな時代においても、柔軟な発想と行動力で挑戦を続けてまいります。

青年部の活動は、単にビジネスや経済にとどまらず、地域全体の活性化や人材育成、次世代リーダーの育成にも寄与してきました。青年部のメンバーと一緒に活動してきた仲間たちとの絆は、個々の成長だけでなく、地域全体の発展に貢献する力となっています。この40周年という節目は、私たちが過去の功績を振り返り、未来に向けて新たな一歩を踏み出す重要な機会です。これまでの40年の歴史を支えてこられた先輩方に、改めて感謝申し上げます。

そして、今後の50周年、さらには100周年に向けて、私たち現役のメンバーがさらなる飛躍を遂げられるよう努力してまいります。最後になりますが、私たち商工会議所青年部の活動や思いが多くの方々に伝わり、地域社会がさらなる発展に繋がることを願っております。



高橋 英明

Hideaki Takahashi

花巻商工会議所青年部 会長

祝辞

花巻商工会議所青年部設立40周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

照井会頭のもと、昭和59年(1984)11月に岩手県第2番目の青年部として誕生しました。東北新幹線は昭和57年に盛岡～大宮間が開通し、昭和60年に新花巻駅が開業されました。当時は大型店問題が大きな課題で、イトーヨーカドーの面積が議論され、昭和63年に開業しました。海外では、ベルリンの壁崩壊は平成元年(1989)11月。翌12月、東京株式市場は39,098円の史上最高値で幕を閉じました。その後、日銀の総量規制等によりバブルが崩壊しました。ソ連は1991年ゴルバチョフ大統領を最後に崩壊。平成5年(1993)には、岩手県の米の作況指数30という大冷害が発生し、全国的にも米不足が深刻でした。

花巻市は平成18年(2006)1市3町の合併により新市がスタートし、花巻商工会議所は平成20年4月に旧3町の商工会と合併しました。

初代会長は、伊藤雄公氏で、宮澤前会頭は第2代会長を務めました。青年部独自の計画により、毎年研修会や、他組織との交流、商工業の振興、社会貢献活動等の事業に積極的に取り組み高い評価を受けております。岩手県商工会議所青年部連合会会長を輩出し、日本商工会議所青年部を始めとする上部団体に多くの出向者を送り出し、地域のリーダーの育成に力を注いできたことは、花巻市の将来に必要な人材育成の場となり、将来は青年部の皆さんの中から商工会議所議員が多数生まれることを期待しております。

コロナの問題が大きく暗い影を落とし、円安等の影響もあり、物価の上昇や労働力不足等、政治も経済も不安定な状態です。このような厳しい環境下で、未来を切り開いて行くためには、若い皆様の新しい発想と、積極的な行動力が望まれるところであります。

結びに、花巻商工会議所青年部の益々のご発展と、会員皆様のご活躍、ご健勝を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



高橋 豊

Yutaka Takahashi

花巻商工会議所会頭

祝辞

今般の石川県能登地方の大雨災害で犠牲になられた方々の御冥福をお祈りしますとともに、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

この度、花巻商工会議所青年部が創立40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴青年部におかれましては、永年にわたり、商工業の振興と地域の活性化のために御貢献いただいております、深く敬意を表する次第です。

また、平成26年度及び令和5年度には、岩手県商工会議所青年部連合会の会長を始め、日本商工会議所青年部や、東北ブロック商工会議所青年部連合会の理事を輩出するなど、県内外の商工会議所青年部の活動をリードするとともに、地域経済の振興に大きく御尽力いただいておりますことに対し、改めて感謝を申し上げます。

貴青年部はこれまで、花巻市の夏の一大イベントである「光と音のページェント(花火大会)」や独身男女が出会う「プレミアムパーティー」の開催など、地域に密着した若者ならではの活動を積極的に展開してこられました。また、就職に関する意見交換会や、中高生のインターンシップの受入により、地域企業の人材確保を図るなど、地域の課題解決に向けた活動にも取り組まれてこられました。

皆様におかれましては、今後も若い力を十分に発揮し、地域の活性化を推進して下さるようお願い申し上げます。

県では、「いわて県民計画(2019~2028)」第2期アクションプランにおいて、人口減少対策に最優先で取り組むこととしており、結婚・出産、子育て支援といった自然減対策はもとより、若者の県内就職や移住・定住の促進といった社会減対策にも力を入れているところです。特に、結婚サポートセンターの設置・運営やマッチング支援の強化、若手社員と高校生との意見交換を通じた地元企業の理解促進、U・Iターンフェアなどによる県内就職の促進などに取り組んでいるところです。

このような県の施策の推進に当たりましては、商工会議所青年部をはじめとする地域の皆様方との連携が何よりも重要であります。貴青年部におかれましては、引き続き、地域経済の発展のために積極的に取り組み、ともに「希望郷いわて」の実現に御尽力いただくようお願い申し上げますとともに、岩手の未来を担う若者のリーダーとして一層御活躍されますことを御期待申し上げます。

結びに、花巻商工会議所青年部のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



達増 拓也

Takuya Tasso

岩手県知事

祝辞

花巻商工会議所青年部創立40周年を心からお祝い申し上げます。

花巻商工会議所青年部は昭和59年11月に創立されて以来、青年経済人としての資質向上と会員相互の交流を通じて、地域の産業振興や地域社会の発展に大きく貢献されてこられました。歴代の会長をはじめ役員、会員の方々に多大なる感謝を申し上げます。

平成26年度に創立30周年を迎えられてからのこの10年間は、めまぐるしい経済の動きがありました。特に令和2年から約4年にわたって世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、人々の意識や消費行動に多大な影響を与えました。コロナ禍に発生したウクライナ情勢に起因する物価・燃料費の高騰は、今もなお影響を与え続けております。そのような環境にあっても、会員同士の連携を絶やすことなく、出向や交流事業を推進するなど、青年部の活動を発展させてきた会員の皆様には深く敬意を表しますとともに、困難を乗り越えたチームワークをもって、今後さらに活動が活発化していくことに大いに期待しております。

花巻市は観光都市として、豊富な資源や県内有数の交通網を活かして交流人口の拡大に取り組んでおりますが、地方都市の課題である人口減少は避けられない状況です。本市の年代別社会増減では、25歳から39歳までの子育て世帯は転入超過の傾向にあるものの、18歳から24歳までの若年者は大学進学や就職を機に多くの方が市外へ転出しています。このような状況から市では、令和5年度に策定した第2次花巻市まちづくり総合計画において、市外に転出した若者が将来的に花巻に戻り、住み続けたいと思えるよう「子ども・子育て応援プロジェクト」及び「花巻で暮らそうプロジェクト」の2つのプロジェクトを重点施策推進プロジェクトとして、人口減少対策の取り組みを一層進めてまいります。市内の経済発展のために、若者にとって魅力的なまちづくりを展開していくことが必要です。次代を担う貴青年部の皆様におかれましては、柔軟な思考と行動力をもって、本市のまちづくりに寄与していただきますとともに、今後とも本市発展のためにご尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、花巻商工会議所青年部の創立40周年を新たな契機として、より一層の発展を遂げられますとともに、関係各位のご健勝とさらなるご活躍を祈念申し上げます。



上田 東一

Toichi Ueda

花巻市長

祝辞

花巻商工会議所青年部が、創立40周年を迎えられたことを心より喜び申し上げます。また、これまでの歴史と伝統を受け継いでこられた歴代の会長ならびに関係者の皆さまには、心から敬意を表します。そして、高橋会長をはじめとする花巻商工会議所青年部の皆さまにおかれましては、日本Y E Gの活動に日頃よりご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められています。人々が美しく心を寄せ合う時代と連帯の証のもとに集うY E Gが調和し、私たちは地域になくてはならない団体として、さらにその価値を高める時が訪れました。この想いを共有、共感し、全国のY E Gメンバーへと共鳴させるために、令和6年度日本Y E Gはスローガンを「Y E G, B E N O B L E ～我ら希望の魁 共に前へ～」と掲げ活動しています。地域を愛し、未来へ力強く一歩を踏み出すY E Gの姿は、気高く堂々としたものであり、地域の希望を照らす存在であります。全国の単会と全力で伴走し、全てのY E Gメンバーと想(こころ)を合わせ、あるべきY E Gの姿とは何か、本質を追究し、時代に求められているY E Gを体現いたします。

結びに、花巻商工会議所青年部が創立40周年を迎え、地域の希望の魁としてますます発展することを、また、皆さま方の企業、地域のさらなるご繁栄をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



吉川 裕太

Yuta kikkawa

日本商工会議所青年部
会長

祝辞

この度、花巻商工会議所青年部が創立40周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、花巻商工会議所青年部の皆様には、常日頃より東北ブロック商工会議所青年部連合会の活動に対して多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、花巻商工会議所青年部におかれましては昨年度岩手県連会長をご排出いただき、リニアコライダーへの理解を深める活動など岩手県商工会議所青年部連合会をけん引するべく、ご活躍をいただきました。今年度は創立40周年という節目となり、これまで以上のリーダーシップを発揮していただき、東北の経済発展に向けてご活動をいただければ、東北ブロック商工会議所青年部連合会としても大変心強く、花巻商工会議所青年部の発展にもつながるものと確信しております。

令和6年度東北ブロック商工会議所青年部連合会におきましては、「一気呵成～想いを一つに東北の躍進へ～」をスローガンに1年間活動してまいります。令和4年度に作成した東北ブロック中期ビジョン2023－2026において2年目に当たる当年度においては、東北における課題の解消について、なかなか議論が進まない状況のなか、商工会議所青年部として政策提言という形を以て親会と協力し東北経済の発展に寄与していくことができればとの思いから政策提言に力を入れ、近い将来において東北45単会すべてにおいて政策提言について実施、実行していくための礎となることができると考えております。

結びに、今日までの花巻商工会議所青年部の活動に際し、多大なるご協力とお力添えをいただきましたO B・O Gをはじめとする商工会議所青年部関係者の皆様に敬意を表すとともに、皆様の地域・企業の益々の発展をご祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



太田 憲仁

Norihito Ota

東北ブロック商工会議所
青年部連合会 会長

祝辞

共に前に、輝いていこう!

花巻商工会議所青年部が創立40周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。また貴会の皆様におかれましては、創立からさまざまな困難に直面しながら、地域発展と豊かな社会貢献に向けてご尽力され、先輩諸兄姉や現役メンバー皆様が長きにわたり紡いでこられた活動が「結晶」として受け継がれていることに、同じ商工会議所青年部メンバーとして深く敬意を表します。

花巻は、多くの偉人とスポーツ選手を輩出しております。また豊かな自然と素晴らしい風土に恵まれ、伝統ある特産品も多く、観光振興においても岩手を牽引しています。YEGとしてこれらに積極的に参画し、地域経済の活性化にも繋がり、若手リーダーとして率先行動する姿はまさにお手本となるものではないでしょうか。

本年度、高橋英明会長をはじめとする花巻商工会議所青年部の皆様におかれましては、岩手県商工会議所青年部連合会に対しても、多大なるご理解、ご協力を賜わっておりますことを感謝申し上げます。令和6年度岩手県連は、「いわてYEG, EVOLUTION! ~仲間と共にYEG魂を輝かせよう!~」をスローガンに掲げ岩手県内各単会の活動の支えとなり、メンバー同士の交流の絆を深めて、自身の活動に対し成長を促す事業を展開しております。今後とも、共に繋がり、新たな未来を創りあげ、メンバー一人ひとりが輝く活動にご協力をお願い申し上げます。

結びに、今日まで長い歴史と伝統を作り上げて来られた先輩諸兄姉はじめ関係者の皆さまに心から敬意を表するとともに、メンバー皆様が、一致団結し更なる発展と飛躍を遂げるために、これからも志高く素晴らしい活動を展開し続けることを願い、今後の花巻商工会議所青年部様の益々のご繁栄、そして更なる飛躍を心よりご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



卯城 正一

Shoichi Ujo

岩手県商工会議所
青年部連合会 会長



40 年 の 軌 跡

昭和59年 11月20日 花巻商工会議所青年部設立

地域を学び 子ども達のために未来を考え

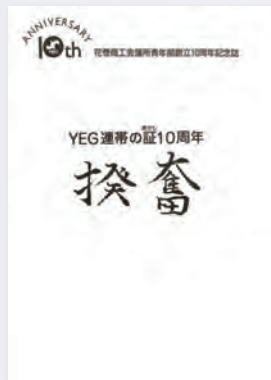
地域づくりにひたむきに取り組んでまいりました

先輩たちの熱い想いは後輩たちへと引き継がれ

また新たな歴史を積み重ねていきます

温故知新 先人たちの偉業を讃え

青年部は新たな歩を進めます



1984 [昭和59年度] 初代会長 伊藤 雄公

11月20日 設立総会
3月14日 東北新幹線新花巻駅開業祝賀自動車パレード(新花巻駅～花巻駅)

1985 [昭和60年度] 初代会長 伊藤 雄公

9月14日 第4回東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会(一関市)
3月26日 花巻市の現状と未来を勉強する青少年のバス(花巻市内9ヵ所視察)

1986 [昭和61年度] 第2代会長 宮澤 啓祐

8月9日 駅前地区活性化事業「D51祭り」停車場パザール
(国鉄花巻駅貨物操車場跡地)
3月9日 北上商工会議所青年部との交流会「ニューメディア活用法」

1987 [昭和62年度] 第3代会長 高橋 靖忠

イーハトーブフォーラムの第1回目がスタート
11月8日 ふれあい市民祭(花巻市上町)

1988 [昭和63年度] 第3代会長 高橋 靖忠

イーハトーブサマーフェスティバル'88【7月29日～31日】
(花巻市高田、北上川河川敷他)
10月25日 シンポジウム「西暦2001年の花巻を語る」講師:久木田禎一氏

1989 [平成元年度] 第4代会長 佐藤 敏昭

イーハトーブフォーラム'89【8月2日】(宮沢賢治記念館ボランの広場)
7月28日 各団体青年部との交流会(花巻市農協本所)
10月24日 シンポジウム「レインボープロジェクトを語る」講師:清水宏一氏

1990 [平成2年度] 第5代会長 藤本 純一

イーハトーブフォーラム'90【8月3日】(花巻市若葉町、花巻市文化会館)
11月21日 シンポジウム(東和町)「21世紀の地域交流像を語り合う」

1991 [平成3年度] 第5代会長 藤本 純一

イーハトーブフォーラム'91【8月10日】(花巻市北上川河川敷、朝日橋～朝日大橋間)
6月14日 研修講演会「若手がつくる明日の花巻」講師:高橋圭三氏
11月26日 研修講演会(大迫町)
「大迫の縄文遺跡にみる先人の文化とこれからの地域交流」

1992 [平成4年度] 第5代会長 藤本 純一

イーハトーブフォーラム'92【8月9日】(花巻市北上川河川敷)
7月18日 第11回東北ブロック商工会議所青年部運営研究会(花巻温泉)
2月19日 花巻地方青年部交流会(石鳥谷町)「幻想的街づくり」

1993 [平成5年度] 第6代会長 箱崎 俊介

イーハトーブフォーラム'93【8月8日～10日】(花巻市北上川河川敷)
10月15日 花巻商工会議所青年部会報「揆奮」創刊号発刊
10月25日 花巻地方青年部(1市3町)交流会(花巻市NAHANプラザ)
◇全国商工会議所青年部連合会 副会長 藤本純一氏(4月1日～3月31日)

1994 [平成6年度] 第6代会長 箱崎 俊介

イーハトーブフォーラム'94【8月7日～10日】(花巻市北上川河川敷)
10月23日 青年部創立10周年記念事業 ふれあい市民祭(第1回)
11月5日 青年部創立10周年記念事業 式典・記念講演・祝賀会
11月18日 花巻地方商工団体青年部交流研修会(東和町)

1995 [平成7年度] 第7代会長 佐藤 良介

イーハトーブフォーラム'95【8月5日～10日】(花巻市北上川河川敷)
2月19日 研修講演会「今後の花巻のまちづくりの課題と展望について」
講師:鈴木功氏[花巻地方振興局]
11月3日 第2回ふれあい市民祭
◇北緯40°Bライン連携軸推進協議会設立(6月7日)

1996 [平成8年度] 第8代会長 佐藤 明

イーハトーブフォーラム'96【8月4日～19日】(花巻市北上川河川敷)
10月20日 第3回ふれあい市民祭
◇宮沢賢治生誕100年祭 市街地マップ制作

1997 [平成9年度] 第9代会長 高橋 弘司

イーハトーブフォーラム'97【8月3日～10日】(花巻市北上川河川敷)
12月12日 研修講演会「花巻地方の将来とこれからの青年団体のありかた」
講師:村田柴太氏[岩手県議会議員]
10月12日 第4回ふれあい市民祭
◇全国会長研修会花巻招致活動(オブザーバー出席し招致運動)

1998 [平成10年度] 第10代会長 伊藤 智仁

イーハトーブフォーラム'98【8月1日～23日】
光と音のページェント【8月10日】(花巻市北上川河川敷)
第1回ツーデーマーチ開催【8月22日・23日】

1999 [平成11年度] 第10代会長 伊藤 智仁

イーハトーブフォーラム'99【8月1日～23日】
光と音のページェント【8月10日】(花巻市北上川河川敷)
第2回イーハトーブの里ツーデーマーチ【8月21日・22日】
◇第17回全国会長研修会いわて花巻大会(2月8日・9日 登録:256単会、952名)
記念講演&パネルディスカッション「21世紀の青年がなすべき役割と情熱」
講師:増田寛也氏[岩手県知事]

2000 [平成12年度] 第11代会長 照井 雄一

イーハトーブフォーラム 2000【8月1日～31日】
光と音のページェント【8月10日】(花巻市北上川河川敷)
第3回イーハトーブの里ツーデーマーチ【8月19日・20日】
10月18日 2000年代第1回1市3町青年部交流会(花巻YEG主管、大迫町会場)
11月22日 広域ネットワーク推進プロジェクト会議「県の広域行政推進指針」
講師:菅野洋樹氏[花巻地方振興局]
◇YEG2000年計画策定

2001 [平成13年度] 第11代会長 照井 雄一

イーハトーブフォーラム 2001【8月1日～31日】
光と音のページェント【8月10日】(花巻市北上川河川敷)
第4回イーハトーブの里ツーデーマーチ【8月25日・26日】
6月16日 第6回岩手県商工会議所青年部連合会会員大会(花巻YEG主管)
10月26日 第2回1市3町青年部交流会(石鳥谷町商工会青年部主管)

2002 [平成14年度] 第12代会長 佐藤 忠明

イーハトーブフォーラム 2002【8月1日～31日】
光と音のページェント【8月31日】順延開催(北上川河川敷)
第5回イーハトーブの里ツーデーマーチ【8月24日・25日】
10月3日 第3回1市3町青年部交流会(東和商工会青年部主管)
◇北緯40°Bライン連携軸推進協議会 ホームページ開設

2003 [平成15年度] 第13代会長 阿部 一郎

イーハトーブフォーラム 2003【8月1日～31日】
光と音のページェント【8月30日】順延開催(北上川河川敷)
第6回イーハトーブの里ツアー【8月23日・24日】
5月28日 研修講演会 花巻地方1市3町合併勉強会・意見交換会
○合併に関するビデオ上映
○合併についての考察 吉田徹氏【花巻地方振興局】
○青年部会員によるパネルディスカッション
11月20日 第4回1市3町青年部交流会(大迫商工会青年部主管)
◇北緯40°Bライン連携推進協議会(花巻会場)

2004 [平成16年度] 第14代会長 高橋 宏史

青年部創立20周年記念事業
【6月12日】記念講演・記念式典・祝賀会【花巻市文化会館・ホテルグランシェール花巻】
記念講演・講師 佐々淳行氏(元内閣安全保障室長)
イーハトーブフォーラム2004【8月1日～31日】
光と音のページェント
第7回ツアー
イーハトーブ夢めぐり、農業ふれあいツアー
1市3町青年部交流会(第5回～第8回) 大迫・石鳥谷・東和・花巻で開催
◇北緯40°Bライン連携推進協議会10周年

2005 [平成17年度] 第15代会長 高橋 哲哉

イーハトーブフォーラム2005【8月1日～31日】
光と音のページェント
第8回ツアー
イーハトーブ夢めぐり、農業・農村ふれあいツアー
1市3町青年部交流会(第9回～第12回) 大迫・石鳥谷・東和・花巻で開催
◇北緯40°Bライン連携推進協議会(花巻会場)

2006 [平成18年度] 第16代会長 菊池 忠彦

イーハトーブフォーラム2006【8月1日～31日】
光と音のページェント
第9回ツアー
イーハトーブ夢めぐり、農業・農村ふれあいツアー
4商工団体青年部交流事業(第13回～第16回) 大迫・石鳥谷・東和・花巻で開催
「ハートにキューピット(青少年ホーム主催)」を共催

2007 [平成19年度] 第17代会長 佐々木 史昭

イーハトーブフォーラム2007【8月1日～31日】
光と音のページェント
第10回ツアー
イーハトーブ夢めぐり、農業・農村ふれあいツアー
4商工団体青年部統合準備委員会設置
第1回華麗なるプロポーズ大作戦開催(出会い創出事業)
花巻YEGブログ開設

2008 [平成20年度] 第18代会長 小原 良猛

商工会議所合併により1つの花巻YEGとなる
青年部合併記念「大会員大会」開催
イーハトーブフォーラム2008【8月1日～31日】
光と音のページェント
第11回ツアー
イーハトーブ夢めぐり、農業・農村ふれあいツアー
出会い創出事業をプレミアムパーティーと改称し開催

2009 [平成21年度] 第19代会長 姉帯 充志

イーハトーブフォーラム2009
【2つのイベントでの開催に変更】
【8月22日】光と音のページェント
【8月22・23日】第12回イーハトーブの里ツアー(なはんプラザ広場)
プレミアムパーティー開催
◇北緯40°Bライン連携推進協議会(花巻会場)

2010 [平成22年度] 第20代会長 久保田 明寿

ビジネスブログ「はなまきいち」立ち上げ
イーハトーブフォーラム2010
【8月21日】光と音のページェント
【8月21・22日】第13回イーハトーブの里ツアー
「おまつり盛り上げ隊」立ち上げ
プレミアムパーティー開催

2011 [平成23年度] 第21代会長 吉田 和洋

事業益金を釜石YEGへ寄贈
岩手・秋田のYEGと共働にて被災地支援
Facebookの活用
イーハトーブフォーラム2011
【8月20日】光と音のページェント
【8月20・21日】第14回イーハトーブの里ツアー
プレミアムパーティー開催

2012 [平成24年度] 第22代会長 高橋 聖明

3支部から4ブロック体制に変更(花巻・大迫・石鳥谷・東和)
イーハトーブフォーラム2012
【8月18日】光と音のページェント
【8月18・19日】第15回イーハトーブの里ツアー
岩手県連会員大会花巻大会・日本YEG「故郷の新しい風会議in花巻」を主管開催
プレミアムパーティー開催
◇北緯40°Bライン連携推進協議会(花巻会場)

2013 [平成25年度] 第23代会長 松葉 孝博

Facebook「花巻わいいーじー」立ち上げ
イーハトーブフォーラム2013
【8月17日】光と音のページェント
【8月17・18日】第16回イーハトーブの里ツアー
経営講演会『メイカーズ革命ー3Dプリンター』
プレミアムパーティー開催

会長経験者の声 会長経験者として今後の青年部に望むこと

初代会長 伊藤 雄公 平成25年5月16日 逝去

第2代会長 宮澤 啓祐 平成31年3月23日 逝去

第4代会長 佐藤 敏昭 平成18年2月24日 逝去

第6代会長 箱崎 俊介 平成29年5月23日 逝去

第9代会長 高橋 弘司 平成30年10月 逝去

第3代会長 高橋 靖忠

第5代会長 藤本 純一



第7代会長

佐藤 良介

青年部創立40周年誠におめでとうございます。

昭和59年11月の設立時のメンバーとして、40年の歴史を振り返ると非常に感慨深いものがあります。

青年部は今日まで会員相互の親睦と連携をもとに、市内青年団体としての交流を図り、イーハトーブフォーラムなどの地域活性化事業に取り組んで参りました。

この間には、東日本大震災、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など大きな環境の変化もありましたが、青年部として親会、行政などとの連携を密にし、今日まで事業を継続して来ました。

今後もめまぐるしい環境の変化に柔軟に対応しながら、青年経済人としての英知と情熱を結集して、花巻の活性化のために取り組んで頂きたいと思います。



第8代会長

佐藤 明

1996年(平成8年度)は宮沢賢治生誕100年祭が行われた年で年度が始まってからの総会でとてもタイトなスケジュールで、総会の早期開催を申し送りしたのを思い出しました。

又、YEG全国会長研修会開催のチャンスにいち早く手を挙げて女性会員にも入っていただき全員で考え活動したことは懐かしくとても良い思い出です。

花巻商工会議所青年部の益々の発展と会員皆様方の若き起業家集団(花巻YEG)としての活動経験がその後の豊かな幸せな人生の礎になることをご祈念いたします。

花巻商工会議所青年部創立40周年誠におめでとうございます。

会長経験者の声 **Q** 会長経験者として今後の青年部に望むこと



第10代会長

伊藤 智仁

花巻YEG創立40周年おめでとうございます。

子供の頃は、欲しいものや美味しいものは現地へ出向いて希望を叶えることが楽しみでした。今は、大概のことが居ながらにして宅配やネットで済む便利な社会です。より良いものを提供する商売の本質は変わりませんが、お客様がサービスに向かう形態から、サービスがお客様に近づいてくるという真逆の構造に変わりました。これからの社会、商売を伸ばすには地産他消に向かわざるを得ませんが、YEGは地域を最優先に考える地産地消が基本です。

時代の流れに沿ったままで地産地消を捉えたとすれば、皆様の商売が作り出す商品は、広く売出し儲けて貰いながらも、皆様の商売の有り方が学ぶに値いする商品になることが必要です。そうすれば多くの人々が訪ねてきます。勿論、これに耐えられる研鑽は必要です。昨今、歴史的・文化的資産や施設を対象とした産業観光という言葉を聞きます。YEGが先立ちとなり、これまでの地産地消を商品からノウハウへと切替える先駆けとなってください。

第11代会長 **照井 雄一**



第12代会長

佐藤 忠明

我々の郷土、花巻市は特例合併制度に倣い、18年前に1市3町が合併し、新花巻市として生まれ変わった。結果として、新花巻市は人口10万数千人を擁する中堅都市となった。しかし、10万人都市にふさわしい活性化が起きているかという、些か眉をひそめなければならない。

新花巻市が今後、岩手県の中堅都市として誇れるような活性化手法を、2つ提言させていただく。

総論はやはり「住みやすい街、住みたくなる街」を作り上げることが喫緊の課題である。各論として、短期的に人を集める場面づくりと、長期的視野に立った人口増加策を挙げたい。前者は、現在も一定の成果を上げている「わんこそば全日本大会」、「花巻祭り」、地域ごとのイベント等に一味も二味も加えて、より一層の活性化を図ることである。後者は、花巻の類まれなる自然環境と広大な面積を活かし、都会に住む60歳前後の定年層を対象とした花巻移住作戦である。昨今は、人の寿命が80歳・90歳と長くなってきている。定年後の30年・40年の余生を、この宮澤賢治の生誕地、温泉に恵まれた風光明媚な花巻市で過ごしていただくという作戦である。

会長経験者の声 **Q** 会長経験者として今後の青年部に望むこと



第13代会長

阿部 一郎

創立40周年おめでとうございます。

私は初代会長伊藤雄公様に誘いを受け20代後半に入会させて頂きました。当時は自分よりほとんど年上の方々が主流で、会合に行くのが億劫だった事を思い出します。そして40代になり役員を任される年代となり、全国会長研修会開催、イーハトーブフォーラム担当等、どちらかといえばイベントを重視した活動だったような気がしています。その後、商工会議所と商工会の統合により青年部も統合となり、紆余曲折をしながら現在の姿になっていると思います。

コロナ過後の世界は閉塞感が漂っている様な気がしてなりません。世界的に巻き起こっている紛争や分断、日本を見ても大企業の好調と中小零細企業の不調、二極化する経済環境が私たち中小企業に痛みを与えているような気がしてなりません。

花巻においても同じような状況であると思います。元気で魅力ある花巻を目指して、若い発想で活動して頂きたいと思います。

青年部は様々な業種の会員が集まりで構成されます。花巻の良い所、劣っている所を突き詰め、個々の意見を尊重し話し合う事が豊かな発想を生み、親会(商工会議所)に無い新しい商工会議所の活動を生み出頂きたいと思います。その事が今の花巻にとって重要な事だと思います。

花巻商工会議所のメンバーの更なる活躍を祈念します。

第14代会長 **高橋 宏史**

会長経験者の声 会長経験者として今後の青年部に望むこと



第15代会長

高橋 哲哉

この度の創立40周年誠にありがとうございます。私が会長を務めてから来年で20年になりますが、当時はまだ3町の青年部が合併前で纏まりはあまりなかったので、今のように大人数になって一つになって前に進んでいる姿を見ると、頼もしくまた嬉しく思います。

今後の青年部に望むことということで、自分なりに思い浮かんだことを書かせていただきます。

①地域連携、地域貢献の強化

旧1市3町がせっかく合併したので今まで以上に連携を強化し、また行政、地元企業とも協力し合い、花巻地域の特色を活かしたイベントやプロジェクトを通じて住民との絆を強める取り組みを期待致します。そうすることで地域経済の活性化や地域社会への貢献にも繋がっていくと思います。

②リーダーシップの育成

メンバーの育成に力を入れ、次世代のリーダーが花巻の未来を切り開いていけるような環境作りが大切です。新たなリーダーシップを育むための研修や交流の機会を積極的に増やすべきと思います。その為の出向やリーダーの輩出は大いにすべきと思います。

③新しいビジネスの創出や地域ブランド力の向上

メンバーは基本的に経済人が多いので、個々のビジネスマインドを育成することが大切ですし、組織的にも革新的なビジネスモデルや起業の支援を行うことで、花巻地域の経済基盤を強化していくことが望まれます。また地域の産業を国内や世界に発信する機会を増やし、地域ブランド力の向上にも繋げてほしいと思います。

④持続可能な地域社会作り

花巻の強みである観光都市としての特色を活かし、豊かな自然環境、宮沢賢治ゆかりの地、そして伝統ある温泉地や観光資源のブランディングの強化やその魅力を発信しながら更なる観光客の誘致を強化しての地域経済活性化の推進を期待します。

また地域での持続可能な開発目標(SDGs)の作成やそれを意識した活動を推進し、環境に優しい取り組みや地域の自然を守る提言の発信や活動を進めてほしいと思います。

花巻商工会議所青年部が今後とも地域の発展に貢献し続けることを心より期待しております。



第16代会長

菊池 忠彦

2011(平成23)年、東日本大震災の年、イーハトーブフォーラムを開催すべきかどうか、判断の難しい年でした。4月、実行委員長であった私は、市の観光課長と協議を重ね、「今、イベントをやっている場合ではない、仮にやったとして企業協賛は集まらないだろう」という考えで一致。「中止」という結論を持って、会長である宮澤啓祐会頭に相談に伺うと、会頭はこう仰いました。『こういう時だからこそ、花巻が元気になるように頑張らねば。青年部さん頼んだよ』。この言葉に勇気をいただき、開催に向け準備に取り掛かりました。皆様のご協力をいただき、フォーラムは無事終了。運営にあたった我々青年部が一番元気をもらったように思います。

商工会議所青年部の指針に「行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ力を合わせ 国の礎となろう」の一節があります。青年部らしさとは、行動力であり、それが青臭くても良いのだと思います。これからも地域を支える経済人として、花巻を元気にする活動を共に頑張ってください。

商工会議所青年部の指針に「行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ力を合わせ 国の礎となろう」の一節があります。青年部らしさとは、行動力であり、それが青臭くても良いのだと思います。これからも地域を支える経済人として、花巻を元気にする活動を共に頑張ってください。

会長経験者の声 **Q** 会長経験者として今後の青年部に望むこと



第17代会長

佐々木 史昭

私が花巻YEGの会長を務めた2007年は前年に新花巻市合併、翌年に花巻商工会議所と3町商工会の合併が予定され、そのための地均しが必要となる年でした。毎月のように3町へ出向いて出張役員会を開催し、3町のイベントへ参加して相互理解に努めたことが思い出されます。その頃はSNS黎明期で花巻YEGブログを開設し、数枚の写真とテキストで花巻のイベント紹介を何度も行いました。現在に繋がる婚活イベント「華麗なるプロポーズ大作戦」も始めました。翌2008年にはYEG岩手県連会長も務め、岩手県産品の輸出促進事業を行いました。

どのような時代でも青年部は世の中の変化に敏感であり、時代に先がけた活動で地域を牽引して頂きたいと思います。YEGの経験は企業経営者の能力を向上させ、経済人同士の信頼関係を育み、近い将来地域を代表する経営者として各社を発展させ、花巻商工会議所の役員として地域経済へ貢献して頂きたいと思います。大いに期待しております。



第18代会長

小原 良猛

自営業で日配業の私は基本月曜から土曜日まで毎日働きながら、合間にYEG活動をする。役につくと潰れる週末はさらに多くなる。先輩に誘われイヤイヤ入会したが、会長まですることになったのは何故か考えてみる。

多分それはYEG活動がボランティアだからだ。いや、むしろ金を払ってまですることさえある。商売のことばかり考えなきゃならない本業と真逆のボランティア活動。

「地元花巻の経済活動に資する」なんてカッコいい体裁もある。

陰陽のバランスというけれど、こういうことなのかもしれない。商売させて頂いている地元へのお返しもできる。

YEG活動はそんな心持ですべきなのだというのが私の持論、そしておすすめだ。



第19代会長

姉帯 充志

37歳で起業し、直ぐに偶然会った先輩に誘われて、花巻商工会議所並びに青年部へ入会致しました。訳も分からず言われるがまま、愚直に活動致しました。気付けば青年部会長を仰せつかり、後には皆様方のご推挙により、岩手県商工会議所青年部連合会会長という、想像もしなかった大役を、皆様方のご協力の基に、無事経験させて頂きました。

また在籍中に、それまで培った知識・経験・絆を共有した仲間達と、各関係機関や強い地元愛を持った市民の同世代の皆と、2015年の「花巻まつり」にギネス記録に挑戦し、演者・観覧者・関係者等会場全体が一体となり、見事世界一の称号を手に入れた瞬間の、歓喜に沸いた光景は、今でも鮮明に目に焼き付いており、大きな達成感をはじめ、一生忘れられない良き思い出です。

青年部に入会し活動した事で、私の人生観は大きく変わりました。何も知らない私を、温かく向かい入れ、研鑽の場を与えて育てて頂き、改めまして皆様へ感謝申し上げます。

会長経験者の声 **Q** 会長経験者として今後の青年部に望むこと



第20代会長

久保田 明寿

花巻YEG創立40周年おめでとうございます。

私が会長に就任した2010年は商工団体が合併して2年が経過し、本格的に一つの組織としてスタートすべく内部の整備に着手した年でした。例えば、年会費。それぞれ違う年会費を統一する「新生花巻YEG年会費統一会議(策定会議)」は、もめにもめ何度も議論しました。また新生花巻YEGの組織力向上と地域を越えた仲間意識の醸成のために、新規に委員会を構成し、全メンバーがいずれかの委員会に登録する仕組みも作りました。統一事業はできませんでしたが、会議後の飲み会で時間を忘れ将来の花巻像を熱く語り合ったのもいい思い出です。

40周年を迎えた今、皆さんがYEG活動で培った街づくりへの情熱、行動力、発想力等持てる力を自分の仕事だけでなく、地域の、公共の利益のために商工会議所で、各地域で思い存分発揮していただきたいと思います。

YEGのこれから益々のご活躍をご期待申し上げます。



第21代会長

吉田 和洋

この度は花巻商工会議所青年部(YEG)創立40周年おめでとうございます。

卒業してはや20年、おかげさまで還暦を迎えました。入会后すぐ岩手や東北出向、Bライン出向様々な経験をさせていただきました。会長就任の2011年度は、3.11東日本大震災津波が発災した1ヶ月後。前の週は釜石文化会館で県連引継会が同時刻行われておりました。発災後のすぐに花巻で県連の会長会を行い、北緯40度Bライン協議会様や花巻青年会議所様の協力もいただき、横軸連携で釜石にて支援活動をしております。本来予定していた活動の実行が難しい中、関係各位や会員の協力をいただき、合併後の花巻YEGが一体感を持って活動できましたことは、意義のあることだったと感じております。

花巻YEGの卒年は現在50歳です。入会が早い方、卒年近い方と様々あると思いますが、せっかく親会の会員でもあり、青年部年会費を出して入会しているのですから、積極的に活動へ関り地域の発展に寄与しながら、自分も高めて行って良い友人と出会い、協力し合いお互いを高め、卒業後も地域へ関わっていただければと思います。

花巻商工会議所青年部の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

会長経験者の声 会長経験者として今後の青年部に望むこと



第22代会長

高橋 聖明

初めに花巻商工会議所青年部会員の皆様、OB諸先輩方、関係各位の皆様におかれましては創立40周年誠におめでとうございます。

また、高橋豊会頭様をはじめ花巻商工会議所職員の皆様、そして商工会議所会員の皆様方には日頃より青年部活動にご理解、ご協力を賜り青年部OBの1人として厚く御礼申し上げます。

私が花巻青年会議所に入会したのが1996年、30歳の歳でした。青年部会員の先輩からお誘いを受け訳も分からず入会し様々なイベントの企画、運営に携わってまいりました。

私が入会中での大きな出来事の1つが、世に言う「平成の大合併」でした。

花巻市も平成18年に1市3町が合併し新花巻市が誕生しました。それに伴い花巻商工会議所青年部も旧1市3町、4つの青年部が合併しました。合併当初は会費、卒業年齢等様々な問題もありましたが一つずつ話し合いを行い解決し、そして今では旧3町からも会長が輩出される団体とへ成長しました。

そして大きな出来事のもう1つは私が2012年、花巻商工会議所青年部、第22代会長に就任した事でした。この年は岩手県YEG連合会の会員大会が花巻で開催されることが決定しており、また日本YEG交流委員会事業の「風会議」が会員大会と同時開催されることになっておりました。風会議とは全国数か所のYEGで開催され各省庁の若手官僚の方々を招いて、現在(当時)の東京中心の経済と地方との格差問題や地方、地域の問題、今後の地方の在り方など様々なテーマに基づいてグループディスカッションを行い交流を深めました。懇親会では上田花巻市長様、故宮澤会頭様や沢山のご来賓の皆様をお招きしました。懇親の席では花巻に因んだ宮沢賢治さん、鹿踊り(花巻農業高等学校の生徒の皆さん)、わんこそばと言った趣向をこらした余興を行い大いに盛り上がり成功裏に幕を閉じることが出来ました。

大会の運営に当たっては当時の高橋専務をはじめ歴代会長、各副会長、4ブロック長、役員の皆様と多くの会議を重ね計画、準備を行ったことが今でも思い出され、皆さんには大変ご苦勞をおかけした、とあらためて頭の下がる思いです。

入会から卒業までの20年間私にとっての花巻YEGはここに書ききれないほどの思い出や出会い楽しかった事など沢山の経験と修練を与えてくれた場だったと思います。

最後に現役会員の皆様にはこれからも花巻に根付いた活動、これからの担うであろう若手経済人が花巻YEGに入りたい、と思うような活動を行って頂けるようご祈念致します。



第23代会長

松葉 孝博

この度は花巻商工会議所青年部創立40周年、誠におめでとうございます。

私の次の年が30周年でしたので、あれからもう10年が経つと思うと早いものです。この10年はコロナがあり、東京オリンピックがありと激動の10年でした。コロナで全てが変わったし、僕は飲食業なので特に影響を受けたと思っています。こういう時こそYEGの結束の時だと思いました。大変で困っている仲間を応援する。支援する。そういう団体で在って欲しいものだと思っています。以前は商売の話はタブー?という時代もあった。と聞いたことがございます。しかしながら、僕はもっとビジネスの話をし、切磋琢磨したりもっとお互いを鼓舞しあったりして欲しいと思っています。それこそ商工会議所青年部だからこそ出来ることだと思っています。同業他社である仲間、同じ境遇で在ったり、同じ悩みを抱えたりもしています。そんな花巻YEGの仲間と共にこの激動の時代の新たなリーダーとして、柔軟且つ的確にこれからの時代を引っ張って行って欲しいと願っています。

自信をもって行動あるのみです。

むすびに、会員の皆様方の益々のご活躍をご祈念申し上げましての感謝と激励の言葉とさせていただきます。

2014 [平成26年度]

スローガン

温故知新 今こそ新たに歩を進めよう ～文化を伝承しつつ 新しい文化の創造～

このスローガンのもと、30周年を迎えた時から10年が経ちました。あの時、地域の皆様とともに歩むことを誓ったことを今も鮮明に思い出します。平成20年には大迫、石鳥谷、東和の3商工会青年部との合併を果たし、すべての地区から会長を輩出しました。それぞれの地域の文化を尊重しつつ、新しい文化の創造に向けた取り組みが出来たと思います。

私は会長職を務めたことがきっかけで、花巻のリノベーションまちづくりに関わることとなり、仲間とともに株式会社花巻家守舎の立ち上げに携わることが出来ました。その後、マルカンビルの再生事業にも携わり、地域を良くするためには一人の力では限界があるものの、力を合わせることで活動の幅が無限に広がることを実感しました。私たちの会社経営力や、人を動かすマネジメント能力が、地域の発展に寄与できることを示せたと感じています。今後もさらなる地域活性化に向けて歩み続けたいと思います。

地域の未来を見据え、新しい価値を創造し、次世代に繋げていくことを目指します。これまで支えてくださった多くの方々に、心より感謝申し上げます。今後とも、引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



高橋 潤吉

Junkichi Takahashi

第24代会長

〔副会長〕高橋 吉輝 小田島 英樹 熊谷 雅順 渡辺 正乃 阿部 清久 佐々木 信行

〔専務理事〕平賀 明

〔出向理事〕日本YEG県代表理事 高橋 修 東北YEG理事 瀬川 賢孝 県連会長 姉帯 充志

県連副会長 高橋 潤吉 県連専務理事 高橋 年徳 県連理事 平賀 明

北緯40°Bライン事務局長 渡辺 仁 北緯40°Bライン理事 菊池 久範 高橋 宏彰

〔主な事業〕

- 創立30周年事業
- 青年部会員大会 ～石鳥谷～
- 「おもしろ経営講演会」「経営講談」
- プレミアムパーティー
- イーハトーブフォーラム2014
- イーハトーブの里ツアーデーマーチ



2015 [平成27年度]

スローガン

共存共栄

花巻YEGは新たなる次代へ!

花巻商工会議所青年部(以下花巻YEG)、創立40周年おめでとうございます。思い起こせば10年前に創立30周年の実行委員長を仰せつかり、当時の花巻YEGメンバーに大変お世話になって、周年の事業をやり遂げることが出来たと思っています。

私の年度スローガンは「共存共栄 花巻YEGは新たなる次代へ!」。次の周年を迎えるにあたり、花巻YEGが向かう方向を考える事と、各ブロックの垣根を取り去り、花巻YEGとして一体感の醸成を進める事に集中しました。全体事業検討特別委員会が「花巻市3青年団体新春交流会」を計画、開催し、年度末まで次年度事業に繋がる多くの案を考えて頂きました。一体感醸成については、専務を大迫ブロックの佐々木規之君に引き受けて頂き、合併前の商工会青年部時代の人脈を使ってもらい、ブロック間の融和を進める事が出来たと思います。また専務を中心にSNSやホームページの刷新など、各事業やブロック活動を見える化して頂きました。継続事業(出会い、拡大交流、経営、各ブロック)も担当委員会の皆さんにアップデートして頂きました。

思う事はメンバーをはじめ、多くの方々に支えて頂き会長をやらせてもらったなあと感謝でいっぱいです。そして佐々木規之専務、人柄の良さと早い行動力、優れた計画性の持ち主で本当に助けて頂きました。当時は面と向かって伝えて無かったので10年は読めるであろうこの場で。ありがとう!ノリ!

花巻YEGがこれからもずっと輝きますよう、ご祈念申し上げます。



阿部 清久

Kiyohisa Abe

第25代会長

[副会長] 高橋 吉輝 小田島 英樹 瀬川 賢孝 高橋 修 佐々木 信行 渡辺 仁

[専務理事] 佐々木 規之

[出向理事] 県連副会長 阿部 清久 県連理事 佐々木 規之 県連監事 高橋 潤吉

北緯40°Bライン理事 平賀 明 佐藤 誠吾 岩館 光

[主な事業]

- 花巻YEGホームページ開設
- おもしろ講演会
- フレッシュ会員セミナー
- プレミアムパーティー
- イーハトーブフォーラム2015
- イーハトーブの里ツアーデマーチ



2016 [平成28年度]

スローガン

一致団結

平成28年度、私が会長を務めました当時は青年部員も約150人と会員も増えた頃でした。不安と重責を感じながら“一致団結”をスローガンに挙げてスタートを切ったのを覚えています。

イーハートブフォーラムの継続事業はもちろん新規事業への取り組みにもチャレンジした一年でした。この年はいわて国体や宮沢賢治生誕120年記念等が開催され、たくさんの方が花巻を訪れることが期待され、我々青年部も花巻市団体サポーターへの登録し、おもてなし研修会に参加しながら大会の運営実行を盛り上げました。

第35回東北ブロック大会“いわて盛岡大会”として開催したのもこの年でした。岩手県内での東北ブロック大会でしたので、岩手県連全体で「幸呼来(さっくら)いわて」を合言葉に実行運営に全面協力して盛大な東北ブロック大会となりました。

新規事業としてはトップリーダー研修交流会として花巻市長、花巻商工会議所会頭を講師としてお迎えし様々な分野を学ぶ機会を設けたり、YEG会員によって事業成功を支援する為の機会を創出しく、YEGメンバーによる新規事業のプレゼン大会も企画、開催されました。

就職支援教職員交流会では、地元企業における人材確保のため雇用対策を見越し、花巻公共職業安定所様をはじめとする各就業労働者への支援事業様方のご協力のもと「花巻における就職に関する意見交換会」を開催できたことはよかったです。

私が十数年のYEG活動で一番深く関わったのは、岩手・秋田の各単会の出向メンバーで組織される、北緯40度Bライン連携軸推進協議会でした。Bラインに出向し、多くの会員と出会い活動を共にしたメンバーは、OBとなった現在でも交流させていただいておりますし又、OB会員としても時折活動に参加しながら交流を更に深めております。

平成28年度の事業を企画・実行・開催するにあたり当時の会頭である、故・宮澤啓祐様には大変ご協力、ご支援を頂きましたことに深く感謝申し上げます。また、青年部会員の皆様をはじめとする関係各位におかれましては、大変ご苦勞をおかけしましたが、心から感謝しております。

これまではお骨を折り頂いた全ての方々はこの場をお借りして御礼を申し上げます。現・花巻YEGの皆様におかれましては、ご卒業するまで仲間たちと共に楽しみながら全力で邁進して頂き、地域を支える豊かな街づくりを目指して頂きたいと思っております。

最後に花巻YEGの今後の更なるご活躍とご発展をご期待申し上げます。



渡辺 仁

Hitoshi Watanabe

第26代会長

〔副会長〕 佐々木 規之 岩館 大輔 高橋 吉輝 瀬川 賢孝 金子 哲仁 高橋 修 平賀 明

〔専務理事〕 伊藤 達也

〔出向理事〕 県連副会長 渡辺 仁 県連相談役 姉帯 充志 県連理事 高橋 潤吉 伊藤 達也 佐々木 規之
北緯40°Bライン理事 松葉 孝博 小澤 憲男 岩館 光

〔主な事業〕

- 花巻における就職に関する意見交換会
- トップリーダー研修交流会
- 新規事業プレゼン大会
- 第1回武道サミット in 花巻
- プレミアムパーティー
- イーハートブフォーラム2016
- イーハートブの里ツアーマーチ
- フレッシュ会員セミナー



2017 [平成29年度]

スローガン

流れる水はくさらない

花巻商工会議所青年部創立40周年おめでとうございます。
節目の年に会長に就任された高橋英明会長を始め、担当委員会の皆様今日のこの日を迎えるにあたり、さぞご苦労も多かった事と思います。

大変お疲れ様でした。

私はYEGに入会した当時、うどん屋を経営しておりました。

鳴かず飛ばずで赤字続き。

毎日混沌としておりました。

そんな私に入会を勧めてくれたのが、タカハシ看板の高橋吉輝専務でした。

当時の私はとても生意気でプライドも高く、場の空気を汚し、歴代会長を困らせたものです。しかし、そんな歴代会長さん達や緒先輩方はそんな私を決して見捨てず、根気よく育ててくださいました。

今も"おさむー"と呼び捨てされる事が、私は嬉しくてなりません。

今の私があるのは、全てYEGの仲間達のおかげ。

日本出向

会長職も経験させていただきました。

全国に繋がった仲間達は今も私の財産

YEGの経験が、今の私の原点です。

卒業してもう5年ほどになりますが、YEGに在籍させていただいた事を今も誇りに思っています。

花巻商工会議所青年部が今後も50年、60年と歴史を重ね、故郷花巻市の礎となる事を願っています。



高橋 修

Osamu Takahashi

第27代会長

〔副会長〕佐々木 洋平 岩館 大輔 阿部 智学 奥山 雅史 浅沼 喜久 高橋 誠 名須川 晋

〔専務理事〕岩館 光

〔出向理事〕県連副会長 高橋 修 県連理事 高橋 潤吉 岩館 光 伊藤 達也 佐々木 規之

北緯40°Bライン理事 松葉 孝博 堀合 浩之 北緯40°Bライン監事 小澤 憲男

〔主な事業〕

- 花巻における就職に関する意見交換会
- 新年だよ!全員集合 花巻YEG異業種交流会
- はなまき産業大博覧会出展
- 第2回武道サミット in花巻
- プレミアムパーティーDEハロウィン
- イーハトーブフォーラム2017
- イーハトーブの里ツアーデーマーチ



2018 [平成30年度]

スローガン

Plus 1 ～積小為大～

平成30年は、会員は140名程の大所帯となっており、一人でも多くの会員が交流し刺激を与え合いながらネットワークを広げ、自分のビジネス、地域の発展にもつながって欲しいとの思いから、『交流』を意識した事業を進めたことを思い出します。

石鳥谷「南部杜氏の里まつり」を体感しながらの『会員大会』、花巻YEG10周年を記念して『OB・OG交流望年会』を実施し先輩方と交流を深めるとともに、合併後の10年の歴史を共に振り返りました。『プレミアムパーティー』では他団体と協働して新しい展開を始めたのもこの頃でした。また、北上YEGとの『企業視察&異業種交流会』では、地域を越えた交流で普段とは違った刺激を受け大いに盛り上がりました。

イーハトーブフォーラムでは、新型コロナの影響で、協議に協議を重ねながらも2年間開催を断念せざるを得ませんでした。3年ぶりの開催に当たっても、感染症対策、物価高対策を十分にとることが大前提であり、その計画立案のため小委員会、本委員会を幾度となく重ねました。観測史上雨の日が多かった8月で、数日前の大雨で河川敷が濁流にのまれ延期を余儀なくされました。翌週幸いにも何とか開催できました。あれほど雨が降らないことを祈り続けた夏はありません。

これらの活動の全ては、多くの方々、多くの団体様のご協力ご支援があったからこそできたと思います。支えてくださった皆様に、心から感謝申し上げます。

最後に、創立40周年を迎え、青年部の皆さまが益々充実し、益々繁盛し、益々地域が発展していく事を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



奥山 雅史

Masafumi Okuyama

第28代会長

〔副会長〕多田 孝年 阿部 智学 高橋 誠 浅沼 喜久 佐々木 規之 岩館 大輔 佐々木 信行

〔専務理事〕山影 和孝

〔出向理事〕県連副会長 奥山 雅史 県連理事 高橋 潤吉 山影 和孝 佐々木 規之

北緯40°Bライン副会長 小澤 憲男 北緯40°Bライン理事 菊池 久範 木村 貴志 坂本 純一

〔主な事業〕

- 花巻YEG OB・OG会員交流望年会
- 経営講演会 in花巻温泉
- プレミアムパーティー
- イーハトーブフォーラム2018
- イーハトーブの里ツアーデーマーチ
- 花巻北上YEG合同異業種交流会



2019 [令和元年度]

スローガン

当事者意識

～花巻を愛し、より幅広い視野で関わろう～

当事者意識が私を変えてくれた

私の担当年は平成31年に始まり、令和元年を迎え令和2年に締められました。会員達にあらためて感謝を申し上げます。特に役員会の皆、専務理事を務めた岩館大輔君、次年度会長の山影和孝君には頭が上がりません。本当にありがとうございました。

私はまず後輩達に、商工会議所青年部に入会し、そして会長を経験してよかったと伝えたいです。地域の青年リーダー達と語り、笑い、そして事業を進めた思い出は何物にも代えがたいものです。

私は、毎月の役員会では、事前に2時間かけて挨拶原稿を考え臨みました。私が真剣に取り組むことで、役員達がまとまることを期待しての行動です。皆がそれに応えてくれました。また次年度会長の人選については、歴代の先輩達にご挨拶し協力を仰ぎました。人の縁と思いを大切にしました。

同年は北緯40度Bライン連携軸推進協議会の会長輩出年で、その任を小澤憲男君が担いました。年明けに新型コロナウイルス感染症による社会不安が広がるなか、2月に「秋田・釜石間高速道路開通記念お祝いの会」を開催できたのは、奇跡的なタイミングでした。

当時、花巻YEGの事業は完了していましたが、県連会議の一部が中止となりました。心残りはありましたが、同期の県内YEG会長達とは今でも交流を続けています。

私の年度スローガンは「当事者意識」でした。私は一年を経て自分の視野が広がりました。ぜひ後輩達にも、そんな経験をしてほしいと願っています。



高橋 誠

Makoto Takahashi

第29代会長

〔副会長〕多田 孝年 佐藤 誠吾 山影 和孝 小田島 英樹 小田島 裕樹 赤沼 範高 小澤 憲男 佐々木 規之

〔専務理事〕岩館 大輔

〔出向理事〕県連副会長 高橋 誠 県連理事 高橋 潤吉 岩館 大輔 県連監事 佐々木 規之

北緯40°Bライン会長 小澤 憲男 北緯40°Bライン専務理事 菊池 久範 北緯40°Bライン事務局長 坂本 純一

北緯40°Bライン理事 浅沼 喜久 木村 貴志

〔主な事業〕

- 3青年団体交流会
- 就業体験紹介事業
- プレミアムパーティー
- イーハトーブフォーラム2019
- イーハトーブの里ツアーデマーチ



2020 [令和2年度]

スローガン

我進笑誕 ～笑顔あふれる未来へ～

私が会長職をお預かりした令和2年度は新型コロナウイルスが世に出始めたころ、いつどこで感染するかわからない状況下であったため、人と会うことや出かけることを極力控えなくてはならない、マスクが必須となり顔もよく見えないという時期でありました。

そのような年度になるなど想像すらできませんでしたが、会長として活動するにあたり、「我進笑誕～笑顔あふれる未来へ～」という造語をスローガンに掲げ様々なことを実施すべく考えていました。しかしいざ始めると、事業を実施できるように計画しても白紙になり、更なる代替案を検討、提案しても実施することができなかつた年度となってしまいました。

このままでは、記録には残るものの記憶には残らない年度(コロナに負けた年度)となってしまうため、岩手県連青年部単会にお声がけして、花火の打ち上げを企画し、花巻では12月19日に石鳥谷町で花火を打ち上げおよびYouTubeによるライブ配信を行いました。人を集めることができないイベントではありましたが、打ち上げが始まった時には涙が出たこと、道程は大変だったが冬の花火はきれいだったことが記憶に残っています。

私がスローガンを掲げた意味としては、私たち(我々)が進む道に笑いが誕生する。そして生活するうえで笑顔があふれる未来を目指したかったのですが、世間の波とコロナウイルスに打ち勝つまでは至らなかったのが悔やまれます。ただ、私と一緒に活動してくれた高橋専務は今年度の会長となり、周年事業を取り纏めてくれています。次代への橋渡しをすることができたのはとてもうれしい限りだと考えています。

コロナ禍であっても、私を支えていただいた役員やフロアメンバー、そして事務局や先輩の皆様方に感謝を申し上げ、振り返りとさせていただきます。



山影 和孝

Kazutaka Yamakage

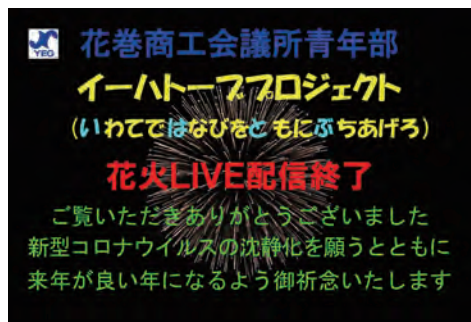
第30代会長

- [副会長] 阿部 睦春 浅沼 喜久 小田島 裕樹 多田 孝年 岩館 大輔 佐藤 誠吾 岩館 光
 [専務理事] 高橋 英明
 [出向理事] 県連副会長 山影 和孝 県連理事 高橋 潤吉 高橋 英明
 北緯40°Bライン直前会長 小澤 憲男 北緯40°Bライン理事 浅沼 喜久 坂本 純一

[主な事業]

- バーベキュー会員大会
- プレミアムパーティー
- イーハトーブプロジェクト
～岩手で花火をぶち上げろ～(冬花火)
- イーハトーブの里ツアーデーマーチ(中止)

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業に大幅な制限



2021 [令和3年度]

スローガン

経世済民

・情報を正しく読み解く ・思考停止しない
 ・同調圧力に屈しない ・経済、文化、自由を守る
 以上を肝に銘じ、先導者たる気概を持ち、世を経め民を済ふべく、
 青年部活動を進めて参りましょう。



岩館 大輔
 Daisuke Iwadate
 第31代会長

花巻YEG 40周年、おめでとうございます!

在籍中お世話になった感謝の気持ちを込めて、一筆お祝いの言葉を贈らせていただきます。

私が会長を務めた年は「コロナ騒動」2年目でしたので、思うような活動ができませんでした。

しかし同時に、歩みを止める訳には行かないと、強く感じました。何故なら、経済を回し、文化を守らなければ、市民生活が止まってしまうからです。そういった意味を込めて、会長スローガンを「経世済民」としました。

「世を経さめ、民を済う」という意味です。

「経済」というのは、単に「商売」だけではなく「世の中のすべての営み」の事です。

経済が止まれば生活が止まります。

そして人間は、濃厚に・密接に・交わり・関わり合わなければ生きて行けません。

日々の経済活動、また有事の際に、こういった声を上げて、率先して実践できるのは、地域を支える青年経済人である青年部であり、商工会議所です。いつ、また、思ってもみなかった状況が訪れるか分かりません。

青年部の皆さんに於かれましては、先導者たる気概で研鑽に努め続けて頂きたい。私も微力ながら、豊かな郷土を築くためのお手伝いを続けて参りますので、共に頑張ってください!

最後に、花巻商工会議所青年部様の、今後ますますのご発展をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

〔副会長〕佐藤 誠吾 浅沼 喜久 小田島 裕樹 多田 孝年 高橋 英明 岩館 光

〔専務理事〕阿部 睦春

〔出向理事〕県連副会長 岩館 大輔 県連理事 高橋 潤吉 山影 和孝 阿部 睦春

北緯40°Bライン顧問 小澤 憲男 北緯40°Bライン理事 浅沼 喜久 坂本 純一

〔主な事業〕

- 就業体験紹介事業
- プレミアムパーティー
- イーハトーブフォーラム2021(中止)
- イーハトーブの里ツアーマーチ(中止)
- スマイルフェスへの参加・協力
- 花巻市へ絵本寄贈

※新型コロナウイルス感染症の影響により
 事業に大幅な制限



2022 [令和4年度]

スローガン

一丸 ～みんなの力を結集し、 創り上げよう笑顔あふれるまち イーハトーブはなまきの未来～



阿部 睦春
Mutsuharu Abe
第32代会長

2022年度(令和4年度)、青年部会長を務めさせていただきました第32代会長の阿部睦春です。花巻商工会議所青年部創立40周年を迎えるにあたり、今まで花巻商工会議所青年部の発展にご尽力いただきました親会の皆様、諸先輩方、お付き合くださった各所YEGの皆様、関係各所の皆さんに感謝と敬意を表するとともに、このような日を迎えられますこと大変喜ばしく思います。

私が会長を務めさせていただいた年度当初は、コロナ禍3年目、未だ様々な経済活動の制限が設けられていましたことから、同年5月に5類になって以降、徐々に制限が緩和され、3年ぶりのイーハトーブフォーラムや花巻祭りの開催、大迫ワインフェスタ、石鳥谷酒蔵まつり、わんこそば全日本大会の開催など、我々経済人にとって希望の光が広がっていったそんな年であり、様々な研鑽や交流事業活動を通じ、メンバーと共に楽しい1年を過ごさせていただいた年でした。歴代会長をはじめ、諸先輩方に感謝です。

私の年から、女性会員の役員も増え、本年は5人の役員を輩出、次年度は高橋久美子会長予定者、多田真弓専務予定者を輩出するなど、老若男女すべての会員が活躍できるダイバーシティ的な機運が広がっており、今後の花巻商工会議所青年部の事業、活動が楽しみです。

結びに今後とも花巻商工会議所青年部にご支援賜りますようお願い申し上げます、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

〔副会長〕鍋谷 寛 多田 孝年 小田島 裕樹 櫻羽場 哲也 高橋 英明 岩館 光

〔専務理事〕佐藤 誠吾

〔出向理事〕東北ブロック理事・県連理事 高橋 潤吉 県連副会長 阿部 睦春

県連理事 佐藤 誠吾 県連専門委員 山影 和孝 北緯40°Bライン相談役 小澤 憲男

北緯40°Bライン理事 浅沼 喜久 玉山 健太

〔主な事業〕

- YEGまつり in どでびっくり市
(ときめきビンゴ大会)
- YEG会員大会in大迫ワインまつり
- 花巻オクトーバーフェスト
- YEGゴルフ交流会
- 経営ビジネスセミナー(全3回)
- プレミアムパーティー
- イーハトーブフォーラム2022
- イーハトーブの里ツーデーマーチ
(2年ぶりの開催)
- 会員親睦大望年会



2023 [令和5年度]

スローガン

同心協力

～心を一つに、互いに協力～

花巻商工会議所青年部が創立40周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

令和5年度は新型コロナウイルスの影響で縮小・中止とされていた様々なイベントが再開された一年となりました。青年部においても会員同士が集まり、語り合う機会が戻り、とても嬉しく感じたことを思い出します。

コロナ禍を経た今だからこそ、皆が笑顔になるイベントを増やしたい。そんな考えのもと、沢山の新しい試みがなされました。イーハトーブフォーラム2023への出店販売や露店管理、花巻駅と花火会場を結ぶシャトルバスの運行管理、街コンナイトや「YEGまつり」inどでびっくり市での会員企業PR、花巻ワイナリーのブース出店。市職員の皆さんや富士大学の学生の皆さんとの意見交換の場となった「風会議」。時には悩みながら、各部会がアイデアを出し合い、工夫を重ね、どれも笑顔があふれる素晴らしいイベントとなりました。

スローガンとして掲げた「同心協力～心を一つに、互いに協力～」は、困難な状況の中でも心を一つにし、協力して問題を解決してゆきたいという思いが込められております。会長としての一年間は困難なこともありましたが、会員の皆様をはじめ、沢山のの方々に支えられ任期を全うすることができました。この経験をもとに、これからも青年部の活動を続けてゆきたいと考えております。

最後に、花巻商工会議所青年部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げ、令和5年度のご報告並びにお祝いの言葉とさせていただきます。



小田島 裕樹

Hiroki Odashima

第33代会長

〔副会長〕高橋 英明 多田 孝年 渡邊 典史 藤原 誉 高橋 久美子

〔専務理事〕高橋 了介

〔出向理事〕日本出向理事 三國 卓郎 東北ブロック理事 阿部 睦春 高橋 英明 早野 こずえ 県連会長 高橋 潤吉
 県連副会長 小田島 裕樹 県連専務理事 小田島 裕介 県連理事 高橋 了介
 県連専門委員 渡邊 典史 藤原 誉
 北緯40°Bライン事務局長 玉山 健太 北緯40°Bライン理事 浅沼 喜久 菊池 聡

- YEGまつり inどでびっくり市(ときめきビンゴ大会開催)
- 会員交流大会 inいしどりや
- 花火de街コン! 謎解きナイト
- 経営セミナー(全3回)
- 第1回 花巻風会議
- プレミアムパーティー
- イーハトーブフォーラム2023
- イーハトーブの里ツーデーマーチ
- ホームページフルリニューアル
- 会員名簿デジタル化



会長・元会長・ 専務・監事



高橋 英明
会長
[岩手県連 副会長]
有限会社東北物産
代表取締役



小田島 裕樹
直前会長
[岩手県連 理事]
成和建设株式会社
取締役常務



高橋 潤吉
元会長
[岩手県連 直前会長]
株式会社伊藤組
取締役



山影 和孝
元会長
[岩手県連 監事]
土地家屋調査士法人
山影事務所



阿部 睦春
相談役
[岩手県連 専門委員]
ファミリー観光株式会社
代表取締役社長



渡邊 典史
専務理事
[岩手県連 理事]
渡邊土地家屋調査士事務所
土地家屋調査士



小田島 裕介
監事
[岩手県連 専門委員]
O・A 総合保険有限公司



櫻羽場 哲也
監事
RENT HOUSE さくら
代表

40周年事業 特別委員会



岩館 光
副会長
日興電気株式会社
代表取締役



佐々木 江美
委員長
SS建築デザイン室有限公司
代表取締役



平賀 勝規
副委員長
平賀建築
代表



安部 修司
副委員長
はなまき法律事務所
弁護士

総務委員会



早野 こずえ
副会長
[岩手県連 委員長]
フリーアナウンサー



奥山 剛
委員長
有限会社メガネのおくやま
代表取締役社長



横島 宏樹
副委員長
とんこつ王様
店長



小笠原 幸浩
副委員長
アトリエ結
代表



菊池 将巳
西田内装



木村 直樹
株式会社木村設計 A・T
代表取締役



佐々木 規之
有限会社セイブモータース
専務取締役



高橋 和也
有限会社協栄印刷
代表取締役社長



畠山 史成
株式会社畠山冷機工業所
代表取締役



藤根 常智
株式会社藤根商店
代表取締役



藤本 満寛
有限会社山愛緑化
代表取締役




堀合 浩之
株式会社やぶ屋
代表取締役



松坂 宏良
松坂みそ店
代表



森田 一義
森田建設株式会社



畠山 真鎖和
株式会社日本ボデー 代表取締役社長

広報委員会

	中里 真也 副会長 next days株式会社 代表取締役		平野 忍 委員長 ツナガル 代表		高橋 勇気 副委員長 株式会社リコメディカル
	小瀬川 真 副委員長 株式会社小瀬川新聞店 取締役		梅津 大作 有限会社梅津自動車整備工場		佐々木 友光 佐々木建築
	佐藤 和明 企業組大迫菓子センター 専務理事		佐藤 千浩 屋根ヤーマン 代表		千葉 一甲 花巻せんべい工房
	福山 智則 ユーエス学院		氏家 かおる mederuka 代表		新淵 伸彦 農事組合法人リアル 代表理事

拡大委員会

	八重樫 龍士 副委員長 Senpoo 代表		鎌田 哲暢 副会長 有限会社松園総業 取締役		晴山 正基 委員長 株式会社花巻マツダ 代表取締役
	菊池 遼太郎 有限会社花北アドバンス		伊藤 龍志 株式会社藤孝産業 取締役		鎌田 威 株式会社ナレッジサービス 代表取締役
	菊池 遼太郎 有限会社花北アドバンス		久保田 剛平 志戸平温泉株式会社 代表取締役社長		佐々木 翔大 日本料理 新亀家
	関 隼人 焼肉レストラン日和佐 店主		玉田 曼莉 福源商事株式会社 代表取締役		玉山 健太 有限会社花北アドバンス
	平野 恵太 ろばた焼とっくり・富士屋食堂 店主		藤原 嘉也 有限会社石鳥谷タクシー ドライバー		松田 治樹 株式会社松田製作所 専務取締役
	森 祐記 森信也商店		向井 大竜 株式会社エーテルワイン		佐々木 渉 行政書士佐々木渉事務所
					戸田 誠治 副委員長 有限会社戸田家具店 専務取締役
					菊池 慶介 菊池慶介土地家屋調査事務所 土地家屋調査士
					佐藤 美代子 特定非営利活動法人 まんまるママいわて 代表理事
					角掛 慧介 三和薬肥株式会社 統括部長
					宮本 広樹 理事 [北緯40°Bライン 理事] 株式会社クラリス 代表取締役

経営委員会

 高橋 裕之介 副会長 株式会社STJレンテック 東北営業所 所長	 三國 卓郎 委員長 和同産業株式会社 代表取締役社長	 三崎 貴博 副委員長 株式会社岩手銀行花巻支店 支店次長
 阿部 晃也 副委員長 花巻信用金庫二枚橋支店 支店長代理	 浅沼 喜久 理事 [北緯40°Bライン 理事] 株式会社リロット 代表取締役	 菅原 健太 株式会社山下組 代表取締役副社長
 鷹羽 大輝 株式会社北日本銀行花巻支店	 高橋 佳志 司法書士たかはし事務所 所長	 高橋 友一 株式会社新興製作所
 鍋谷 寛 中央接骨院 院長	 前田 毅 早池峰法律事務所	 横田 竜太 株式会社石鳥谷石油 代表取締役

交流委員会

 高橋 和矢 副会長 塗装屋 一屋 代表	 葛岡 竜童 委員長 有限会社アクアサービス 代表取締役	 神山 俊介 副委員長 K-WORKS 代表
 菊池 聡 副委員長 株式会社リスクパスターズ総合保険事務所 株式会社R Bレンタカー 専務取締役	 伊藤 泰晃 株式会社風童社 代表取締役社長	 上田 直輝 上田土地家屋調査士事務所 土地家屋調査士
 坂下 尚也 株式会社スカイコネクション 営業部主任	 佐々木 遼 有限会社日新自動車整備工場 営業	 佐藤 智栄 株式会社サトウ精機 代表取締役社長
 多田 健也 有限会社花巻マイカーセンター 代表取締役	 照井 孝輔 有限会社松倉商会 代表取締役	

出会い創出 特別委員会

 藤原 誉 副会長 [岩手県連 専門委員] ペイント・アート・藤原 代表	 菊池 久範 委員長 [北緯40°Bライン 理事] 株式会社日本ホームスパン 代表取締役	 鈴木 和真 副委員長 株式会社和新銅業 代表取締役
 長谷川 智子 副委員長 Four	 板垣 裕仁 有限会社板垣工業 取締役	 伊藤 敏行 株式会社伊藤電業 専務取締役
		 小田島 英樹 さき織伝承館



小田嶋 玲
有限会社小田嶋設備工業
代表取締役



菊池 直美
有限会社菊池商店



小村田 隆市
有限会社小村田機械



小森田 真理子
株式会社イル・デ・パン



坂本 純一
株式会社瀧田屋
取締役管理部長



高橋 了介
株式会社みちのくボタ
執行役員

盛川 直樹
プライムアーム 代表

地域振興



高橋 久美子
副会長
株式会社
リラウエル保健師事務所
代表取締役

大迫ブロック



田面山 道行
ブロック長
すし処・季節料理にし
店主



高橋 秀司
副ブロック長
高鉱菓子舗
製造責任者



佐々木 健紘
副ブロック長
有限会社花北アドバンス

石鳥谷ブロック



浅沼 総
ブロック長
株式会社ASK
代表取締役



志田 健雄
副ブロック長
株式会社志田美装
取締役



高橋 朋和
副ブロック長
ジブラルタ生命保険株式会社
代表

東和ブロック



多田 孝年
ブロック長
お食事処・観光釣り堀 孝和園
店長



佐々木 洋平
副ブロック長
佐々長醸造株式会社
代表取締役

花巻ブロック



多田 真弓
ブロック長
さくらや花巻店
代表



斉藤 智広
副ブロック長
夜間飛行
店主



似内 繁基
副ブロック長
新高電気株式会社
総務部長

出 向

高橋 英明
岩手県連 副会長

高橋 潤吉
岩手県連 直前会長

早野 こずえ
岩手県連 委員長

小田島 裕樹
岩手県連 理事

渡邊 典史
岩手県連 理事

山影 和孝
岩手県連 監事

小田島 裕介
岩手県連 専門委員

阿部 睦春
岩手県連 専門委員

藤原 誉
岩手県連 専門委員

浅沼 喜久
北緯40°Bライン 理事

菊池 久範
北緯40°Bライン 理事

宮本 広樹
北緯40°Bライン 理事

事務局

佐藤 智昭
花巻ブロック

清水 慎太郎
花巻ブロック

戸来 昭浩
大迫ブロック

佐藤 凌祐
石鳥谷ブロック

菅野 秀樹
東和ブロック



花巻商工会議所青年部 創立40周年記念誌

[編 集]

40周年事業特別委員会
広報委員会

発行日： 2024(令和6年)年11月9日

発 行： 花巻商工会議所青年部 〒025-0075 岩手県花巻市花城町10-27

TEL.0198-23-3381 FAX.0198-23-2324 URL <https://www.hanamaki-cci.or.jp>